

みずほCustomer Desk Report 2017/08/21号 (As of 2017/08/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.48
TKY 9:00AM	109.33	1.1716	128.10	0.9624	GBP/USD	1.2863
SYD-NY High	109.60	1.1774	128.79	0.9670	AUD/USD	0.7875
SYD-NY Low	108.61	1.1708	127.57	0.9587		0.7944
NY 5:00 PM	109.20	1.1760	128.46	0.9652		0.7870
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.57/8.97		△25RR	1.190	Yen Call Over	
NY DOW	21,674.51	▲76.22	債券市場	日本2年債	-0.1370	▲3.2bp
NASDAQ	6,216.53	▲5.39		日本10年債	0.0330	▲2.1bp
S&P	2,425.55	▲4.46		米国2年債	1.3054	1.0bp
日経平均	19,470.41	▲232.22		米国5年債	1.7589	1.0bp
TOPIX	1,597.36	▲17.46		米国10年債	2.1939	0.9bp
シカゴ日経先物	19,455.00	▲30.00		独10年債	0.4140	▲1.2bp
ロンドンFT	7,323.98	▲63.89		英10年債	1.0900	0.3bp
DAX	12,165.19	▲38.27		豪10年債	2.6180	▲2.4bp
ハンセン指数	27,047.57	▲296.65	為替市況	USD/CNH	6.6827	▲0.0015
上海総合	3,268.72	▲0.29		ドルインデックス	93.43	▲0.19
USDJPY 3M Vol	9.21	0.19%	商品市況	CRB指数	177.497	▲1.61
USDJPY 6M Vol	9.35	0.17%		NY金	1,291.60	▲0.80
EURJPY 3M Vol	9.32	0.30%		WTI	48.51	1.42
EURJPY 6M Vol	9.61	0.27%		Dubai Spot	49.36	▲1.00

東京	ドル円はオセアニア時間に109.58をつけるも、前日から続くドル売り優勢地合いの中、東京時間は109.33レベルでオープン。本邦勢がお盆休暇から徐々に戻ってくる中、実需フローに厚みが出てくるとドル円は一時109.56まで上昇。しかしその後、実需フローが一巡すると、特段材料も無い中で前日からのリスクオフも相俟ってドル円はじりじりと下値を切り下げる展開に109.27まで軟化。その後はやや値を戻すも、上値の重い推移が続く中で一時109.25まで下落し、109.29レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.29レベルでオープン。週末を前に東京時間から続いたリスク回避ムードがロンドン時間序盤に入ってもみられる中、円が全般的に買われる展開となり、ロンドン時間の安値となる108.96まで下落。その後は109円台前半で揉み合う展開となり、109.10レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.17台前半から半ばでレンジ推移。朝方は1.1732レベルでオープン。序盤は特段材料が見当たらない中で高値1.1774まで上昇。その後は欧州株が上値重く推移し、方向感にかけるとユーロドルは横這いとなり、1.1735レベルでNYへ渡った。ポンドドルも同じく1.28台後半から1.29台前半でレンジ推移。朝方は1.2883レベルでオープンし、前述のユーロドル上昇を背景にポンドドルはロンドン高値1.2919まで上昇。その後反落し、1.2875レベルでNYへ渡った。(ロンドン 00:31 444 179 日比野)
ニューヨーク	夏休み休暇中の市場参加者が多いことや週末前ということもあり、マーケットが薄い中でドル売りが継続したことや、アジア、欧州の株式市場が全体的に軟調に推移する動きに円買いが優勢となり、海外市場で108.96まで下落したドル円は、109.10レベルでNYオープン。朝方は、タウ先物が軟調に推移する中、再び円買いが強まったことや、投機筋のドル売りが持ち込まれているとの噂に、ドル円は108.61まで下落。しかし108.50のサポートが意識され、米8月シカゴ大学消費者信頼感指数が予想を上回ったこともあり、その後は下げ渋る展開。加えて白人主義者と批判されていた米主席戦略官のパン氏氏が解任との発表を受け、トランプ政権に対する不安感が一部後退すると、軟調な株式市場が反発する展開に円売り優勢地合いとなり、ドル円は109.60まで反発。午後は週末を控えた調整からじり安で推移し、結局109.20レベルでクロスした。一方ユーロドルは、海外市場でドル売りが継続したことから1.1774まで値を戻し、1.1735レベルでNYオープン。朝方は方向感の無い狭いレンジでの推移が続く。パン氏の解任報道が伝わり、1.1730まで下押しするものの、ユーロ円が上昇する動きにユーロドルは下値を切り上げ、1.1767まで値を戻す。終盤は週末を前に閑散な取引が続く。1.1760レベルでクロスした。(NY 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	独	加	米	Event	結果	予想
8月18日	15:00				PP(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.3%	0.0%/2.2%
	21:30				CPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/1.2%	0.0%/1.2%
	23:00				ミシガン大学消費者マインド	8月 97.6	94.0

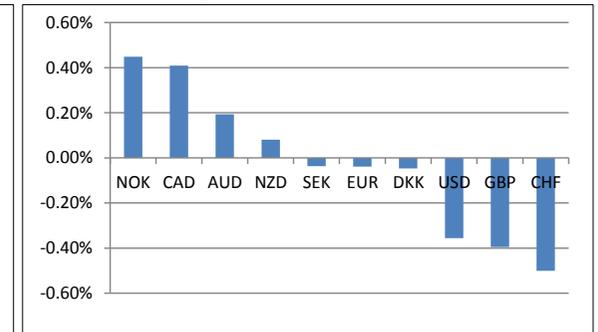
【本日の予定】

Date	Time	米	Event	予想	前回
8月21日	21:30		シカゴ連銀全米活動指数	7月 0.10	0.13

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.80-109.80	1.1700-1.1800	127.60-129.00

【マーケット・インプレッション】

先週末金曜のドル円相場は下げ止まる展開。アジアから欧州時間にかけては前日のスペインテロ事件報道を受けて軟調地合いが続いていたが、米指標の改善や白人主義者との批判を受けていた米パン主席戦略官の解任を受け水準を戻す結果となった。本日のドル円相場はやや底堅い展開を予想する。足許の為替相場は北朝鮮情勢、米政権への批判増大およびスペインテロ事件を材料にリスクオフに傾斜し易い状況が続いていたが、何れの材料も一旦の消化がなされたとの印象を受ける。本日から多くの本邦企業が夏休休暇期間を終え市場に回帰するが、現水準から積極的に円買いを積み上げるといよりは、値頃感から外貨買いが優勢となる可能性が高いだろう。週末のジャクソンホールを控え値幅は限定されるであろうが、ドル円相場で言えば109.00-111.00円レンジの中で水準を戻す展開を予想する。